

第6回いのちの光 3.15 フクシマ

～3.15から8年フクシマが背負ってきたもの 伝えつづけるもの～

「2011年3月15日」

それは、東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所が3度目の爆発を起こし、フクシマへと運命を変えた日です。福島第一原発から約25kmの距離にあるカトリック原町教会でのミサによる祈りと、現地の人々の声を聴き、「いのち」のあり方について共に考え、メッセージを発信していきます。

翌日の元寺小路教会では講演会を開催いたします。ぜひご参加下さい。

2019年

3月15日(金) 13:00～16:00

～ミサ～

司式：仙台教区長 マルチノ平賀 徹夫司教

～現地の声～

講師：田中 徳雲さん (同慶寺 住職)

会場：カトリック原町教会(福島県南相馬市)

3月16日(土) 14:00～16:00 (13時開場)

～講演会～

講師：北川 恵以子さん (小児科医 精神科医)

会場：カトリック元寺小路教会大聖堂(宮城県仙台市)

※15日、16日とも参加費無料・申し込み不要(当日はカンパをお願いします)

主催：「いのちの光3.15フクシマ」実行委員会

問い合わせ TEL : 090-2022-4007(木元)

Mail : inochinohikari315@yahoo.co.jp

後援：カトリック仙台教区

協賛：日本カトリック正義と平和協議会

カトリック正義と平和仙台協議会

※私達は、原発事故について、福島だけに限定せず幅広い社会問題として捉えるため「フクシマ」という表記を用いています。